

# ビワ生育情報

第 6 報  
千葉県農林水産部  
令和 6 年 3 月号

本年は3品種ともに寒害の発生はみられませんでした。  
また、11～2月の平均気温が高かった影響から、3品種ともに果実の肥大が平年より早く進んでいます。

## 幼果の寒害及び肥大

ビワ幼果の生存率を表1に示した。樹冠外側及び内側の生存率は3品種ともにすべて100%で、平年及び前年より高かった。ビワ幼果の寒害は $-3^{\circ}\text{C}$ 以下の低温に2時間以上遭遇した場合に発生が懸念されるが、本年度は2月末時点において日最低気温が $-3^{\circ}\text{C}$ 以下となった日がなかったため、被害がみられなかったと考えられる。

また、11～2月の平均気温が平年より概ね高く推移したため、開花期及び果実の肥大は3品種いずれも平年より早く進んでいる。果実の肥大が進むと擦れ傷、虫害などを被りやすくなるので、摘果・袋かけ作業は早く進める。

なお、本年は、4～7月の南房総地域における果樹カメムシ類の発生量が多発生と予測されている。例年果樹カメムシ類の被害が少ないほ場でも被害が多発する可能性があるため、飛来量が増える4月下旬以降に園内外をよく見回り、飛来がみられた場合には、千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従って防除を行う。

表1 ビワ幼果の生存率（暖地園芸研究所）

品種	樹冠の外側(%)			樹冠の内側(%)			内外の平均(%)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	100	63	7	100	88	8	100	75	8
大房	100	82	77	100	93	68	100	87	73
田中	100	77	30	100	92	23	100	85	27

調査日：令和6年3月4日

平 年：平成11年～令和5年の26年間の平均

## 令和6年2月の気象

令和6年2月の半旬別の気象を表2に示した。平均気温は平年に比べ、第1、第3、第4、第6半旬は高く、第2、第5半旬は低かった。月平均気温は $9.2^{\circ}\text{C}$ で、平年より $2.1^{\circ}\text{C}$ 、前年より $0.8^{\circ}\text{C}$ 高かった。

氷点下日数は0日で、最低極温は全半旬で平年よりも高かった。

降水量は第1、第5半旬は平年より多く、その他の半旬は平年より少なかった。月合計は106mmで平年の121%、前年の81%であった。

日照時間は第3、第6半旬は平年より多く、その他は平年より少なかった。月合計は133時間で平年の87%、前年の88%であった。

表2 令和6年2月の気象(アメダス館山市)

半旬	平均気温 (°C)			氷点下日数 (日)			最低極温 (°C)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	7.4	6.3	7.4	0.0	2.0	2.0	1.8	-1.8	-1.7
2	5.9	6.5	7.3	0.0	1.6	0.0	0.0	-1.2	0.3
3	11.6	6.9	8.7	0.0	1.8	0.0	0.8	-1.5	1.7
4	14.2	7.3	9.6	0.0	1.3	1.0	6.6	-0.7	-2.0
5	6.8	7.7	8.1	0.0	1.3	0.0	0.8	-0.6	1.9
6	9.1	8.1	9.6	0.0	0.7	0.0	2.1	1.0	0.0
平均/計/最小値	9.2	7.1	8.4	0.0	8.7	3.0	0.0	-1.8	-2.0

半旬	降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	43.5	12	20	11	29	39
2	0	11	21	24	28	42
3	0.5	13	22	40	28	22
4	9.5	17	31	17	27	11
5	46	20	24	10	27	13
6	6	14	33	32	16	34
計	106	87	151	133	154	162

平 年：1991～2020年の30年間の平均

最低極温：各半旬あるいは2月中に記録した最低気温

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

#### 4月の作業

4月になると平均気温が一段と高くなって枝葉・根ともに伸長が盛んな時期になり、果実の肥大も急速に進む。3月に続き、摘果・袋かけが重要な作業になる。

#### 摘果・袋かけ

4月に向けて平均気温が高くなり、果実の肥大が進むと擦れ傷、虫害などを被りやすくなるので、摘果・袋かけ作業は幼果の状態を確認しながら早目に進める。

#### 除 草

春草が繁茂する時期になるので、収穫が始まる前に除草を済ませる。草生栽培園では、有機物を補給する意味で草を刈り取って樹冠の回りに敷くとよいが、労力の足りない場合は除草剤を利用する。

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所特産果樹研究室  
電話 0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>